

「世界一安い化石レプリカ(5)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

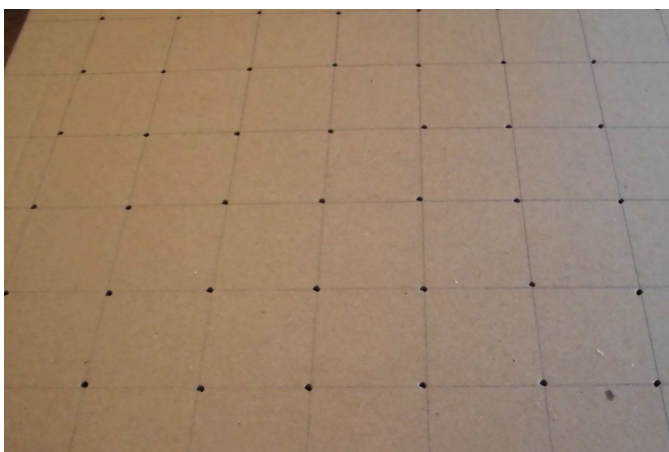
田中 千尋 Chihiro Tanaka



よく乾かした紙粘土の三葉虫レプリカを、濃く溶いたセピア(こげ茶)の水彩絵の具に漬ける。



中で少し動かして、色むらがないようにする。そっと取り出して、そっと水滴を落とすと良い。



浅い段ボール箱に格子を書き、そこに穴をあけておく。ここに串を刺して乾かすのに使うのだ。



このように、隣同士がくっつかないように、各レプリカを斜めにして乾かす。作業中、指に多少の絵の具がつくのは仕方がない。



教室の空いた机で乾かしておいた。だいたい30分もあれば完全に乾き、子どもたちに配ることができるようになるが、念のために一日置いたほうが良い。



この「不思議なもの」に気づいた子どもたちに、さっそく休み時間に取り囲まれていた。「何これ〜?」「ナニこれ〜っ!」「茶色のサンヨウチュウ?」「チョコレートでできた三葉虫だよ」「本物そっくりじゃん!」「コレ、もらえるんですか?」と大騒ぎ。なかなか好評のようでよかった。